

一般演題口演 6月17日(金)

01
教育・啓発・研究に関する課題

6月17日(金)09:15-10:45
第8会場

座長：石原 辰彦（岡山済生会総合病院 緩和ケア科）
村上 敏史（聖隷佐倉市民病院 緩和医療科）

- 01-1 日本肺癌学会会員に対する緩和ケアの実態に関するアンケート調査 S275
坂下 明大（兵庫県立加古川医療センター 緩和ケア内科）
- 01-2 遺族によるホスピス・緩和ケアの質の評価に関する研究3（J-HOPE3）
～遺族からみた研究プライオリティに関する研究～ S275
坂下 明大（兵庫県立加古川医療センター 緩和ケア内科、J-HOPE3研究グループ）
- 01-3 婦人科がん領域における緩和医療に関する実態調査－婦人科がん死亡症例の特徴について S275
二神 真行（弘前大学大学院 研究科 産科婦人科）
- 01-4 遺族によるホスピス・緩和ケアの質の評価に関する研究（J-HOPE3研究）の調査報告書の活用状況の実態 ... S275
五十嵐 尚子（東北大学大学院 医学系研究科、J-HOPE3研究グループ）
- 01-5 がん医療に携わる医療者の緩和ケアに関する知識・態度・困難感の変化に関する研究
－がん対策基本計画策定前後比較結果－ S276
中澤 葉宇子（国立がん研究センター がん対策情報センター）
- 01-6 学校教育におけるがん教育の課題 S276
中澤 秀雄（磐田市立総合病院 緩和医療科、緩和ケアチーム）
- 01-7 当院における医療用麻薬関連ヒヤリハット事例の分析 S276
岩津 慎次郎（公立陶生病院 医療技術局 薬剤部）

02
しびれ感、倦怠感、リンパ浮腫・浮腫・皮膚症状、食欲不振・輸液・栄養・悪液質症候群

6月17日(金)09:15-10:45
第9会場

座長：天野 晃滋（大阪市立総合医療センター 緩和医療科）
鄭 陽（がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科）

- 02-1 抗がん剤による末梢神経障害予防を目的とした手足クーリングの有効性 S276
佐藤 淳也（岩手医科大学附属病院 薬剤部、岩手医科大学薬学部 臨床薬剤学講座）
- 02-2 進行癌患者に対するフコイダンの抗炎症作用およびQOLに関する探索的検討報告 S277
高橋 秀徳（医療法人社団 医創会 セレンクリニック福岡）
- 02-3 リンパ浮腫に対する五苓散投与の効果に関する後ろ向き検討 S277
江川 健一郎（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科）
- 02-4 がん終末期のサルコペニアが予後におよぼす影響 S277
森 直治（藤田保健衛生大学 医学部 外科・緩和医療学講座）
- 02-5 終末期がん患者の入院時栄養評価に関する検討－特に、血清亜鉛値を中心に S277
伊藤 彰博（藤田保健衛生大学 医学部 外科・緩和医療学講座）
- 02-6 終末期がん患者はいつまで食べられるのか
－終末期食事量の癌種による違いの検討（消化管がんと呼吸器がんの比較）－ S278
加村 玲奈（淀川キリスト教病院 ホスピスこどもホスピス病院 ホスピス科）
- 02-7 溢水症状を呈する終末期がん患者に対する「終末期輸液ガイドライン」に基づいた輸液治療の有用性 S278
中島 信久（東北大学大学院 医学系研究科 医科学専攻 外科病態学講座 緩和医療学分野）

03
緩和ケア外来、多職種協働・チーム医療

6月17日(金)09:15-10:45
第12会場

座長：辻川 真弓（三重大学大学院医学系研究科看護学専攻）
齊藤 英一（東京都健康長寿医療センター 緩和ケア内科）

- 03-1 緩和ケア外来通院歴の有無と死亡前30日間での在宅日数の関連 S278
大塚 正友（近畿大学 医学部 堺病院）
- 03-2 当院におけるオピオイド外来の有用性の検討と今後の課題 S278
宮下 清美（国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 看護部）

| | |
|------|---|
| 03-3 | 家族関係が希薄な患者へのがん診療相談相談支援室による多職種支援 …………… S279 菊地 浩子 (みやぎ県南中核病院 がん診療相談支援室、みやぎ県南中核病院 看護部) |
| 03-4 | 多職種が協働するがん患者のせん妄の初期対応セラピストが行う せん妄アセスメントの有効性について …………… S279 作村 里美 (熊本赤十字病院 リハビリテーション科) |
| 03-5 | がん関連の認定・専門看護師が捉える「がん看護連絡会」の実態と有用性の検討 …………… S279 本間 織重 (昭和大学病院 看護部、昭和大学 保健医療学部) |
| 03-6 | 看護師と薬剤師協働によるオピオイドサポートの効果の検討について …………… S279 鈴木 聡子 (JA秋田厚生連 由利組合総合病院 緩和ケアチーム) |
| 03-7 | 動物介在療法の実現までの道のり …………… S280 長江 秀樹 (聖マリアンナ医科大学病院 勤務犬運営部会、聖マリアンナ医科大学病院 緩和医療部会) |
| 03-8 | 在宅医療現場で「緩和ケア・終末期医療」に関わる訪問看護師と介護職の認識と連携の課題 ー地域ケアマジャー対象認識実態調査をふまえてー …………… S280 倉持 雅代 (NPO法人浅草かんわネットワーク研究会、浅草医師会立訪問看護ステーション) |

04

6月17日(金)09:15-10:45

遺族のケア、ピアサポート・患者会・家族会

第13会場

座長：柏木 雄次郎 (関西福祉科学大学 心理科学部心理科学科)
大西 秀樹 (埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科)

| | |
|------|--|
| 04-1 | 救急外来CPA患者を含めた病院全体にグリーフケアを～当院グリーフケアチームの関わり～ …………… S280 渡辺 啓太郎 (岡山赤十字病院 緩和ケア科) |
| 04-2 | ホスピス・緩和ケア病棟の遺族ケアに関する研究 …………… S280 北得 美佐子 (関西医療大学 保健看護学部 保健看護学科) |
| 04-3 | ホスピス・緩和ケア病棟の遺族ケアの改善点に関する研究 …………… S281 北得 美佐子 (関西医療大学 保健看護学部 保健看護学科) |
| 04-4 | がん患者遺族の複雑性悲嘆とうつの混合とその関連要因 …………… S281 青山 真帆 (東北大学大学院 医学系研究科、J-HOPE3研究グループ) |
| 04-5 | がん患者遺族の睡眠・飲酒の実態と悲嘆や抑うつとの関連 …………… S281 青山 真帆 (東北大学大学院 医学系研究科) |
| 04-6 | 在宅がん患者遺族の心的外傷後成長：自由記述の内容分析 …………… S281 猪澤 咲子 (東京医科歯科大学医学部 保健衛生学科) |
| 04-7 | 終末期がん患者の家族が患者の死を前提として行いたい事に関する研究 ー緩和ケア病棟を利用した遺族に対する調査よりー …………… S282 山下 亮子 (大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻) |
| 04-8 | 「常設サロン」におけるピアサポートを受けたがん患者の体験ー小松市民病院の取り組みからー …………… S282 時山 麻美 (富山県立中央病院) |

05

6月17日(金)11:00-12:30

施設内教育

第8会場

座長：金石 圭祐 (JCHO東京新宿メディカルセンター 緩和ケア内科)
小原 弘之 (県立広島病院 緩和ケア科)

| | |
|------|--|
| 05-1 | オピオイド間用量換算支援ツール『看算くん』の有用性の検討～困難感評価の視点より～ …………… S282 岩本 斉子 (愛知県がんセンター愛知病院) |
| 05-2 | 薬剤師を対象としたコミュニケーション勉強会の効果について～参加前後の意識と行動の変化の検討～ …………… S282 今村 隆 (倉敷中央病院 緩和ケアチーム) |
| 05-3 | 専門的緩和ケアを担う看護師のメンタルヘルス・マネジメント力向上を目的とした教育セッションの充実 ー看護師の語りの質的帰納的分析ー …………… S283 高橋 里江 (がん・感染症センター都立駒込病院 看護部) |
| 05-4 | 当院のレスキュードース使用時における看護師の不安～痛みの評価の改善に向けて～ …………… S283 黒澤 喜美子 (秩父市立病院 緩和ケアチーム) |
| 05-5 | デスカンファレンスで感情表出が可能となる要因の分析 …………… S283 村上 知子 (独立行政法人 山口県立病院機構 山口県立総合医療センター 看護部) |

- 05-6 エンゼルケアの見直しとケアの質向上を目指して
 -エンゼルケアに関する調査を通して明らかになった課題と取り組み- S283
 吉原 麗子 (稲城市立病院)

06 6月17日(金)11:00-12:30
呼吸器症状(呼吸困難、咳など)、消化器症状(悪心・嘔吐、腹水など) 第9会場

座長：船木 康二郎 (富山市立富山市民病院 緩和ケア内科)
 新家 治子 (北播磨総合医療センター 呼吸器内科)

- 06-1 進行固形がん患者に対する高流量酸素療法Nasal High Flow (NHF) の有用性の検討 S284
 亀井 千那 (がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科、がん・感染症センター都立駒込病院 呼吸器内科)
- 06-2 循環器専門病院における緩和ケアチーム活動～終末期心不全患者の呼吸困難の緩和に対する試み～ S284
 高橋 知孝 (兵庫県立姫路循環器病センター)
- 06-3 がん患者の呼吸困難感に対する経口モルヒネ治療の効果：多施設共同前向き観察研究 (CJLSG1101) S284
 中島 治典 (大垣市民病院 呼吸器内科、中日本呼吸器臨床研究機構 Central Japan Lung Study Group (CJLSG))
- 06-4 癌患者難治性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注療法 (CART: Cell-free and Concentrated Ascites Reinfusion Therapy) の予後予測因子に関する研究 S284
 大武 優希 (聖路加国際病院 一般内科)
- 06-5 緩和ケア病棟における腹水穿刺症例の検討 S285
 入山 哲次 (NTT東日本関東病院 緩和ケア科)
- 06-6 がん性疼痛に対して、オピオイドを初めて投与された場合の嘔気に影響する要因の分析 S285
 田原 一樹 (奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター)
- 06-7 腹腔穿刺排液を施行した症例におけるPalliative Prognostic Indexを用いた生存期間の検討 S285
 伊藤 哲也 (日本赤十字社医療センター 緩和ケア科)
- 06-8 トラマドール初回投与時における制吐剤の予防投与の妥当性についての検討 S285
 吉田 慎太郎 (青森県立中央病院 薬剤部)

07 6月17日(金)11:00-12:30
緩和ケアチーム、補完代替療法(鍼灸、音楽療法・芸術療法、アロマセラピーなど) 第12会場

座長：片山 志郎 (日本医科大学付属病院 薬剤部)
 齋藤 義之 (新潟県立新発田病院 緩和ケア科)

- 07-1 継続的な緩和ケアチーム研修会により活動内容をブラッシュアップする
 ～第6回兵庫県緩和ケアチーム研修会の開催報告～ S286
 濱中 章洋 (兵庫県立淡路医療センター 緩和ケアチーム)
- 07-2 当院における緩和ケアチームが介入した血液腫瘍患者の依頼内容と介入結果 S286
 松下 格司 (鹿児島大学病院 緩和ケアセンター 緩和ケアチーム)
- 07-3 「基本的な緩和ケア」を提供するために緩和ケアチームができること
 -医師を対象とした質問紙調査から窺える東京医療センター 2014年の現況- S286
 千葉 ちよ (独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 診療部 精神科)
- 07-4 がん治療中に発症したWernicke脳症患者の共通点の分析 S286
 石徹白 しのぶ (和歌山県立医科大学附属病院)
- 07-5 緩和ケアチームの基準2015年版の作成-デルファイ変法を用いて S287
 木澤 義之 (神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座 先端緩和医療学分野)
- 07-6 緩和ケアチームへ求められる役割の変遷：医療者評価の5年間の軌跡 S287
 大谷 弘行 (九州がんセンター 緩和ケアチーム)
- 07-7 がん診療連携拠点病院における病棟の専門職連携実践と緩和ケアチームへのコンサルテーションとの関連 ... S287
 増島 麻里子 (千葉大学大学院 看護学研究科)
- 07-8 ホスピス病棟入院患者と家族の心身症状に対するヨーガ療法の有効性について S287
 森 一郎 (医療法人ガラシア会 ガラシア病院 ホスピス)

座長：上林 孝豊（祐ホームクリニック石巻 緩和ケア内科）
西村 幸祐（岐北厚生病院 緩和ケアセンター）

- 08-1 ケア・カフェ®が地域連携に与える影響－混合研究法を用いて S288
阿部 泰之（旭川医科大学病院 緩和ケア診療部）
- 08-2 訪問看護師へ医療用麻薬のアンケート調査 S288
松若 元子（川内市医師会立市民病院 看護部）
- 08-3 DNAR表明をしているがん終末期患者における救急搬送の実態 S288
杉浦 真沙代（半田市立半田病院 麻酔科、半田市立半田病院 緩和ケアチーム）
- 08-4 緊急入院を指標とした病院－在宅連携システムの医療の質の評価 S288
島田 直樹（東京大学医科学研究所附属病院 緩和医療科）
- 08-5 ホスピス・緩和ケア病棟から自宅へ一時退院することについての、
患者・家族の体験と評価に関する遺族調査 S289
関本 剛（関本クリニック、J-HOPE3 研究グループ）
- 08-6 進行がんの地域連携において「送り手」と「受け手」が持つ問題意識の同定に関する研究 S289
金井 良晃（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部）
- 08-7 都道府県がん診療連携拠点病院における「緩和ケア緊急入院」の現状と対応策 S289
田中 桂子（がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケアセンター、
がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科）
- 08-8 緩和ケア地域連携パスの適応と運用の工夫と、今後の課題について S289
花木 宏治（市立長浜病院 外科）

座長：二村 昭彦（藤田保健衛生大学七栗記念病院 医療技術部薬剤課）
佐藤 恭子（川崎市立井田病院 緩和ケア内科）

- 09-1 化学療法に伴う爪障害に対する患者のケアの認識について S290
三橋 友絵（東京女子医科大学東医療センター がん包括診療部 緩和ケアチーム、
東京女子医科大学東医療センター 看護部）
- 09-2 講座開設後11年間（オピオイド使用終末期がん患者2,443例）における
オピオイドとオピオイド拮抗薬投与例の検討 S290
上葛 義浩（藤田保健衛生大学七栗記念病院 医療技術部薬剤課、藤田保健衛生大学 医学部 外科・緩和医療学講座）
- 09-3 がんで死亡する患者の残薬に関する調査 S290
大前 隆仁（神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座 先端緩和医療学分野、
兵庫県立加古川医療センター 緩和ケア内科）
- 09-4 緩和医療における「経口剤の挿肛（適応外使用）」に関する考察 S290
萬谷 摩美子（医療法人愛和会 愛和病院 薬剤部）
- 09-5 低強度運動は身体機能が維持された保存療法を行うがん患者にも効果があるのか？
－Performance Statusによる効果の違いについて－ S291
中野 治郎（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 運動障害リハビリテーション学分野）
- 09-6 不安・抑うつ傾向のあるがん患者に対するリハビリテーションと
緩和ケアチーム同時介入の効果 S291
石井 瞬（長崎大学病院 リハビリテーション部、長崎大学病院 緩和ケアセンター）
- 09-7 終末期がん患者へのリハビリテーションに関する家族の体験に関する研究 S291
関根 龍一（亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科、J-HOPE3研究グループ）
- 09-8 終末期在宅嚥下リハビリテーション－いかに希望を支えるか－ S291
澤 美菜子（医療法人社団 新国内科医院）

座長：磯野 永依 (けいゆう病院 緩和ケア内科)

小田 浩之 (市立札幌病院 緩和ケア内科)

- 010-1 終末期がん患者に対する肺炎診療の実態：緩和ケア病棟入院患者の後ろ向き観察研究 S292
川島 夏希 (筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)
- 010-2 薬物療法を受ける造血管腫瘍患者の口腔粘膜炎の実態とそのマネジメント S292
菊田 美穂 (国家公務員共済組合連合会 浜の町病院)
- 010-3 在宅介護関係者に対する口腔ケアについてのアンケート調査 S292
向山 仁 (横浜市立みなと赤十字病院 歯科口腔外科)
- 010-4 緩和ケア病棟における終末期がん患者の種別予後解析
～ J-Proval Study データを用いた終末期がん患者 (n=875) の解析～ S292
平本 秀二 (三菱京都病院 腫瘍内科・緩和ケア内科)
- 010-5 終末期がん患者の1カ月生存を血液検査データから予測する S293
湯浅 典博 (名古屋第一赤十字病院 緩和ケア科)
- 010-6 緩和手術における小野寺のPNIの術前評価の有用性 S293
廣野 靖夫 (福井大学医学部 第1外科、福井大学医学部附属病院 緩和ケアチーム)
- 010-7 進行癌患者における身体的所見に基づく簡便で非侵襲的な予後スコアの開発と妥当性の前向き検証
－ Palliative Prognostic Index との比較－ S293
大道 雅英 (愛和病院 緩和ケア科)

座長：原田 紳介 (ゆう在宅クリニック)

鉄穴口 麻里子 (安芸地区医師会居宅介護支援事業所)

- 011-1 子宮頸がん患者の胆管メタリックステント内にオキシコドン徐放錠が停留した1症例 S293
飛鷹 範明 (愛媛大学医学部附属病院 緩和ケアチーム、愛媛大学医学部附属病院 薬剤部)
- 011-2 埼玉県立がんセンターにおけるフェンタニルバックル錠の使用状況
－緩和ケア医と治療医の相違－ S294
細沼 里江 (埼玉県立がんセンター 緩和ケア科)
- 011-3 経皮フェンタニル貼付剤からオキシコドン注射剤への換算比を検証する S294
田所 学 (友愛記念病院 緩和ケア科)
- 011-4 メサドンの使用経験から、用法、用量などについての考察 S294
松田 良信 (宝塚市立病院 緩和ケア内科)
- 011-5 小児専門病院の単一施設における電動式PCAポンプの使用状況～血液・腫瘍科の患者における使用経験～ .. S294
齋藤 恭子 (埼玉県立小児医療センター 緩和ケアチーム)

座長：吉澤 孝之 (医療法人社団愛語会 要町病院)

三浦 剛史 (社会福祉法人 三井記念病院 緩和ケア科)

- 012-1 在宅神経難病患者の医療の質を問う 入院ADLの制限とストレスの緩和をはかるためには S295
寄本 恵輔 (早稲田大学大学院 人間科学研究科 健康福祉科学研究領域)
- 012-2 骨軟部肉腫の終末期の特徴と緩和ケア S295
川島 寛之 (新潟大学大学院 医歯学総合研究科 整形外科)
- 012-3 終末期循環器疾患患者の呼吸困難感に対する低容量モルヒネの有効性の検討 S295
立野 淳子 (一般社団法人平成紫川会 小倉記念病院 看護部)
- 012-4 心不全による呼吸困難に対するモルヒネ使用の有効性について S295
渡慶次 竜生 (国立循環器病研究センター)
- 012-5 誤嚥性肺炎を合併したがん患者の症状緩和 S296
赤司 雅子 (国立病院機構 埼玉病院 緩和ケア内科、国立病院機構 埼玉病院 緩和ケアチーム)

| | | |
|-------|---|------|
| 012-6 | 心不全患者に対する緩和ケアについての意識調査 浅香 真知子 (佐賀大学 医学部 心不全治療学講座) | S296 |
| 012-7 | 往診導入以後の間質性肺炎の終末像 中野 泰 (川崎市立井田病院 呼吸器内科) | S296 |
| 012-8 | 外来看護師による重症心不全患者への継続的な意思決定支援、生活支援の取り組み 中島 菜穂子 (久留米大学病院 看護部) | S296 |
| 012-9 | 循環器疾患患者を対象とした「多職種緩和ケアチーム」による精神症状への包括的介入 菅野 康夫 (国立循環器病研究センター) | S297 |

013

研究方法、市民・患者への啓発、卒前教育

6月17日(金)17:10-18:40

第8会場

座長：河原 正典 (医療法人社団爽秋会 岡部医院仙台)

廣橋 猛 (永寿総合病院がん診療支援・緩和ケアセンター)

| | | |
|-------|--|------|
| 013-1 | 遺族調査の回収率の向上を目指した2×2×2ランダム化要因デザイン試験 宮下 光令 (東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野) | S297 |
| 013-2 | J-HOPE3研究の回収率に関わる要因 宮下 光令 (東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野) | S297 |
| 013-3 | 高齢肺がん患者における在宅療養生活支援方法検討に向けて歩数計を用いた身体活動量の調査研究 森川 歩 (県立静岡がんセンター 看護部) | S297 |
| 013-4 | 緩和ケア普及・啓発のための庄内プロジェクト「市民公開講座」の有用性について 鈴木 聡 (南庄内緩和ケア推進協議会、鶴岡市立庄内病院) | S298 |
| 013-5 | 全国80大学医学部における緩和ケア卒前教育の現状 2015年調査報告 中村 陽一 (大学病院の緩和ケアを考える会 教育部会、東邦大学医療センター大橋病院 緩和ケアチーム) | S298 |
| 013-6 | 歯学部生のターミナルケア態度に関する現状と今後の課題 園井 教裕 (岡山大学 歯学部 歯学教育・国際交流推進センター) | S298 |

014

がん治療における支持療法、外科治療、内科的治療(非がん疾患に対する内科的治療など)、痛み以外の身体症状・治療

6月17日(金)17:10-18:40

第9会場

座長：櫻井 宏樹 (がん研有明病院 緩和治療科)

上杉 英生 (独立研究開発法人 国立がん研究センター 東病院)

| | | |
|-------|--|------|
| 014-1 | 持続型G-CSF製剤(ペグフィルグラスチム)使用の実態調査と至適投与時期の検討 廣瀬 藍子 (東京医科歯科大学医学部附属病院 薬剤部、東京医科歯科大学医学部附属病院 緩和ケアチーム) | S298 |
| 014-2 | がん化学療法を受けている患者におけるアズレンスルホル酸ナトリウム水和物・グリセリンスプレーによる口腔粘膜炎予防 尾関 愛加 (名鉄病院 看護部) | S299 |
| 014-3 | 緩和治療中の癌性心膜炎に対する心嚢ドレナージ 親川 拓也 (静岡県立静岡がんセンター 循環器内科) | S299 |
| 014-4 | 頭頸部がんの化学放射線療法中のオピオイド使用量と食事摂取に関連する要因に関する検討 稲田 修士 (東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部、東京大学医学部附属病院 心療内科) | S299 |
| 014-5 | Performance statusから見る癌性胸膜炎の胸水貯留へのドレナージ適応 三崎 伯幸 (高松市民病院 呼吸器外科) | S299 |
| 014-6 | 緩和ケア病棟におけるインスリンを用いた糖尿病治療の現状 東端 孝博 (つくばセントラル病院緩和ケア科) | S300 |
| 014-7 | 終末期がん患者における嚥下機能と口腔内環境の変化 竹腰 加奈子 (藤田保健衛生大学 七葉記念病院 看護部) | S300 |
| 014-8 | 終末期頭頸部癌患者における諸症状の実態調査：多施設観察研究 上條 朋之 (静岡県立静岡がんセンター 頭頸部外科) | S300 |

座長：池垣 淳一（兵庫県立がんセンター）
後明 郁男（彩都友誼会病院 副院長・緩和ケア科部長）

- 015-1 オピオイド・レスキューの患者自己管理システムの構築
～病院における安全・適切な導入に向けてのポイント～ S300
安田 恵美（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部）
- 015-2 当科における非がん疼痛患者への強オピオイド使用で処方妥当性が低い患者は7.3%存在する S301
高橋 良佳（順天堂大学 医学部 麻酔科学ペインクリニック講座）
- 015-3 年齢・性別からみた末期がん患者におけるオピオイド処方の実態 S301
山本 直子（日野病院 薬剤管理室）
- 015-4 カテコール-O-メチルトランスフェラーゼ（COMT）遺伝子多型と
オピオイドの必要量についての検討 S301
中島 豪（東京女子医科大学 化学療法・緩和ケア科）
- 015-5 タペンタドール徐放錠のがん性痛治療での役割 S301
細田 美穂（香川県立中央病院 薬剤部）

座長：松岡 真里（国立大学法人 高知大学 教育研究部医療学系看護学部門臨床看護学講座小児看護学）
松田 陽一（大阪大学大学院医学系研究科 麻酔・集中治療医学教室）

- 016-1 思春期・若年成人がん（AYA）患者の終末期における臨床経過 S302
安井 直子（国立がん研究センター東病院 小児腫瘍科）
- 016-2 小児がん終末期における輸液量と溢水所見に関する後方視的検討 S302
宇野 光昭（大阪市立総合医療センター 緩和医療科）
- 016-3 小児の在宅緩和ケアの対象となる疾患の分析 S302
前田 浩利（あおぞら診療所 新松戸）
- 016-4 胎児緩和ケアの対象と診断された後、Prenatal visit（出生前訪問）を行った症例の後方視的検討 S302
上田 一仁（愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 小児科）
- 016-5 全国のがん診療連携拠点病院における認知症ケア提供体制に関する実態 S303
菅野 雄介（東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野、
国立がん研究センター 先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野）
- 016-6 認知症高齢者の望ましい死の達成の遺族による評価とその関連要因 S303
佐藤 一樹（東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野）
- 016-7 認知症高齢者の終末期介護体験の遺族による評価とその関連要因 S303
佐藤 一樹（東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野）

017

家族のケア・子どものケア

6月18日(土)09:00-10:30

第8会場

座長：吉田 沙蘭（東北大学大学院教育学研究科）

浅井 真理子（帝京平成大学大学院 臨床心理学研究科）

- 017-1 お友達を亡くした事を告げられたこども達は自らの最後をどう迎えたか
闘病仲間の死を入院中の全てのこども達に伝える活動からの検討 S307
沖本 由理（千葉県こども病院 血液腫瘍科）
- 017-2 親ががん患者である中学生への心理教育プログラム S307
井上 実穂（四国がんセンター）
- 017-3 患者とその子どもへのサポート：「チャイルド・サポート」と救急部との連携の現状 S307
三浦 絵莉子（聖路加国際病院 コ・メディカル部 こども医療支援室）
- 017-4 未成年の子どもをもつがん患者・家族に必要な支援の後方視的検討 S307
高田 博美（国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 看護部、
国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科）
- 017-5 未成年の子どもを持つがん患者の遺族の体験とサポートニーズに関する調査：J-HOPE3 S308
廣岡 佳代（J-HOPE3研究グループ）
- 017-6 緩和ケア病棟紹介時の家族の見捨てられ感の研究（J-HOPE 3） S308
小田切 拓也（小牧市民病院 緩和ケア科）
- 017-7 がん診療連携拠点病院における子育て中のがん患者とその子どもへの支援の実態と
困難感に関する探索的研究 S308
久村 和穂（金沢医科大学医学部 腫瘍内科学、金沢医科大学病院 緩和ケアチーム）
- 017-8 終末期がん患者の家族が「もっと話しておけばよかった」
「もっとあれをしておけばよかった」と思う原因は何か？ S308
森 雅紀（聖隷浜松病院 緩和医療科）

018

早期からの緩和ケア

6月18日(土)09:00-10:30

第9会場

座長：横山 太郎（横浜市立市民病院 緩和ケア内科）

中橋 恒（松山ベテル病院 院長）

- 018-1 早期からの緩和ケア外来開設とその実践について S309
西 智弘（川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター）
- 018-2 苦痛のスクリーニング実施における現状と課題—大学病院外来での取り組み S309
今野 麻衣子（秋田大学医学部附属病院）
- 018-3 地域がん診療連携拠点病院におけるがん患者の苦痛のスクリーニング導入の現状と課題について S309
小田島 綾子（東北労災病院 看護部）
- 018-4 がん医療に携わる全診療科と病棟における苦痛スクリーニングの現状と課題 S309
原垣内 里奈（県立広島病院 緩和ケアチーム、県立広島病院 看護部）
- 018-5 入院患者の緩和ケア提供体制についての検討～「生活のしやすさに関する質問票」を導入して S310
山川 久栄（藤沢市民病院）
- 018-6 初回化学療法導入時の患者の病状認識調査 S310
浦上 裕美（厚生連高岡病院 総合のがん診療センター 緩和ケアチーム、厚生連高岡病院 看護部）
- 018-7 埼玉県立がんセンターにおける入院患者の苦痛症状の現状 S310
森住 美幸（埼玉県立がんセンター 緩和ケアセンター）

019

痛みの基礎研究、ペインクリニック・神経ブロック、非薬物療法（患者教育など）、トータルペイン、その他の痛みに関するもの

6月18日(土)09:00-10:30

第11会場

座長：中保 利通（宮城県立がんセンター 緩和ケア内科）

白澤 円（災害医療センター 緩和医療・ペインクリニック科）

- 019-1 大学病院入院中のがん患者のがんによる痛みの実態調査 S310
岸野 恵（神戸大学医学部附属病院 看護部）

| | | |
|-------|--|------|
| 019-2 | がん疼痛とカルニチン欠乏症との関連性についての探索的研究 酒井 清裕 (近畿大学医学部内科学 心療内科部門) | S311 |
| 019-3 | 依頼科における腹腔神経叢 (内臓神経) ブロックに関する意識調査 大西 佳子 (京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学講座) | S311 |
| 019-4 | 健常者における '我慢できる痛み' は胃運動機能を低下させる 蓮尾 英明 (関西医科大学 心療内科学講座、がん支持療法チーム) | S311 |
| 019-5 | 化学療法中のがん患者における医療スタッフのトータルペイン把握の現状 松野 多希子 (山口県厚生農業協同組合連合会 長門総合病院 看護部) | S311 |
| 019-6 | がん患者のオピオイド使用における異常な薬物関連行動、およびケミカルコーピングに関する医師の認識度調査 —多施設前向き観察研究の予備調査— 馬場 美華 (吹田徳州会病院 緩和医療科) | S312 |
| 019-7 | 疼痛性骨腫瘍に対する動注塞栓療法・動脈塞栓療法の緩和的有効性について 荒井 保典 (聖マリアンナ医科大学 放射線医学講座) | S312 |
| 019-8 | 高線量単回照射が疼痛制御に有効であったと考えられた膀胱癌性疼痛の一例 佐藤 俊 (みやぎ県南中核病院 緩和ケア内科) | S312 |

020

アドバンス・ケア・プランニング、意思決定

6月18日(土)09:00-10:30

第12会場

座長：所 昭宏 (国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 心療内科/支持・緩和療法チーム室)
足立 誠司 (鳥取市立病院 総合診療科 地域医療総合支援センター)

| | | |
|-------|--|------|
| 020-1 | 患者の意向に沿ったエンドオブライフケアの提供のためのコミュニケーション研修の評価 川村 三希子 (札幌ホスピス緩和ケアネットワーク) | S312 |
| 020-2 | 在宅終末期がん患者のACPケア基準作成に向けた訪問看護師の困難感調査 中島 大地 (ナースコール株式会社 教育研修センター) | S313 |
| 020-3 | ACP (アドバンス・ケア・プランニング) をふまえたアプローチにより社会的苦痛を緩和しえた一例 児玉 美千世 (済生会広島病院 消化器内科、腫瘍内科) | S313 |
| 020-4 | 最期の療養場所を決定するときに重要視した要因 首藤 真理子 (わたクリニック、J-HOPE3研究グループ) | S313 |
| 020-5 | 認知症を併発した癌患者の治療選択に関する調査 藤井 知美 (愛媛大学医学部附属病院 緩和ケアチーム) | S313 |
| 020-6 | がん患者の療養生活における意思決定に関する家族の困難感 清水 恵 (東北大学病院 臨床研究推進センター) | S314 |
| 020-7 | がんの終末期の治療選択と選択肢のコスト・ベネフィットの関連：一般成人を対象とした探索的検討 塩崎 麻里子 (近畿大学 総合社会学部) | S314 |
| 020-8 | 標準的な抗がん治療が困難時でも抗がん治療の継続を希望する進行がん患者が、 時間を追っても意向が変わらない背景は？ (縦断調査) 大谷 弘行 (九州がんセンター 緩和ケアチーム) | S314 |

021

家族のケア・子どものケア、精神・心理的ケア、抑うつ・不安、コミュニケーション、概念・歴史、文化(culture)の問題、死生学・死生観・哲学 第8会場

座長：奥山 徹 (名古屋市立大学病院 緩和ケア部)
根岸 恵 (聖隷横浜病院)

| | | |
|-------|---|------|
| 021-1 | 乳がん患者の再発不安尺度日本語版 Concerns about Recurrence Scale-Japanese (CARS-J) の信頼性・妥当性の検討 縦野 香苗 (名古屋市立大学 看護学部) | S314 |
| 021-2 | 病とともに生きる人の心の語り～思いを言葉にすること～ 守嶋 絹 (医療法人大浦会 メディカルケアセンターファイン) | S315 |
| 021-3 | 社会的問題解決理論を応用した膀胱がん患者の家族の心理社会的問題と対処法リストの作成 塩崎 麻里子 (近畿大学 総合社会学部) | S315 |
| 021-4 | 終末期がん患者を介護する家族の不安と抑うつの実態とその関連要因の検証に関する研究 佐竹 宣明 (東北大学病院 緩和医療部) | S315 |

| | | |
|-------|---|------|
| 021-5 | 看護師向けコミュニケーションスキルトレーニングの評価 室田 知香 (杏林大学医学部付属病院) | S315 |
| 021-6 | 日本人遺族における死後観と悲嘆、抑うつとの関連 坂口 幸弘 (関西学院大学 人間福祉学部 人間科学科) | S316 |
| 021-7 | 淡路島における終末期患者のモニター装着の現状について 川 二美 (医療法人社団 いちえ会 洲本伊月病院 緩和ケアチーム) | S316 |

022
制度設計・政策・費用対効果、早期からの緩和ケア

6月18日(土)14:00-15:30
第9会場

座長：笹良 剛史 (友愛会南部病院 麻酔科、ペイン、緩和ケア担当)
齋藤 真理 (横浜市立大学附属 市民総合医療センター)

| | | |
|-------|---|------|
| 022-1 | DPCデータを用いたDPC算定病床におけるがん患者の緩和医療の質 佐藤 悠子 (東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野) | S316 |
| 022-2 | 大学病院におけるがん患者「苦痛スクリーニング」の分析 第2報 —スクリーニングの結果と対応状況の関連— 近藤 まゆみ (北里大学病院 緩和ケアチーム) | S316 |
| 022-3 | 大学病院におけるがん患者の苦痛スクリーニングの分析 第1報—苦痛状況と治療時期の特徴— 児玉 美由紀 (北里大学病院 緩和ケアチーム) | S317 |
| 022-4 | 外来における苦痛スクリーニングの効果と課題 黒川 勝 (石川県立中央病院 緩和ケア内科) | S317 |
| 022-5 | がん患者に対するSTAS-J症状版を用いた苦痛のスクリーニングの現状と課題 小泉 はるか (日本医科大学千葉北総病院 緩和ケアチーム) | S317 |
| 022-6 | 当院で実施した「苦痛のスクリーニング」第2報 日笠 哲 (地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院 緩和ケアチーム) | S317 |

023
ホスピス・緩和ケア病棟

6月18日(土)14:00-15:30
第11会場

座長：片山 英樹 (国立大学法人 岡山大学病院 緩和支援医療科)
安保 博文 (国家公務員共済組合連合会 六甲病院 緩和ケア内科)

| | | |
|-------|---|------|
| 023-1 | 病状を伝える援助～父娘同時主治医の事例～ 阿部 恵子 (千里中央病院 緩和ケア科) | S318 |
| 023-2 | 緩和ケア病棟における定数配置オピオイドの管理 加治佐 直子 (市立芦屋病院 緩和ケア病棟) | S318 |
| 023-3 | 緩和ケア病棟におけるデスカンファレンス開催の関連要因 角甲 純 (国立がん研究センター東病院 看護部) | S318 |
| 023-4 | 宗教的背景のある施設において患者の望ましい死の達成度が高い理由 青山 真帆 (東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野、J-HOPE3研究グループ) | S318 |
| 023-5 | ホスピスで行うエンゼルケアへの家族の参加状況を比較して 重里 幸 (一般財団法人 薬師山病院) | S319 |
| 023-6 | 傾向スコア法によって調整した最期の療養場所と クオリティ・オブ・ケア、クオリティ・オブ・デスとの関連：J-HOPE study 3 羽多野 裕 (京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学、J-HOPE3研究グループ) | S319 |
| 023-7 | The Edmonton Symptom Assessment System-Revised Japanese Versionによる 緩和ケア病棟入院時の症状評価に関する実態調査 小林 成光 (国立がん研究センター東病院 看護部) | S319 |
| 023-8 | 終末期がん患者における誤嚥性肺炎に関する検討 佐々木 千佳 (静岡県立静岡がんセンター 4西病棟) | S319 |
| 023-9 | 緩和ケア病棟における適切な療養場所の支援と地域連携のために作成した 退院支援チェックリストの使用報告 佐野 広美 (医療法人財団慈生会 野村病院 緩和ケア内科) | S320 |

座長：駒澤 伸泰（大阪医科大学 麻酔科学教室（緩和ケアチーム））
森 一恵（聖隷クリストファー大学 看護学部）

- 024-1 プロトコールに基づいた持続的鎮静のパイロットスタディ
～段階的な持続的鎮静プロトコールと迅速な深い持続的鎮静プロトコール～ S320
今井 堅吾（聖隷三方原病院 ホスピス科）
- 024-2 腫瘍内科病棟でのがん終末期における鎮静は余命を短縮しない S320
高橋 義和（大崎市民病院 腫瘍内科）
- 024-3 在宅療養患者の鎮静に関する調査報告と考察 S320
一戸 由美子（社会医療法人 河北医療財団 河北家庭医療学センター）
- 024-4 家族が患者の臨終に間に合わないことは、その後の複雑性悲嘆につながるか？：J-HOPE3 S321
大谷 弘行（九州がんセンター）
- 024-5 ترامドールとワルファリンとの相互作用に関する検討 S321
宮原 強（佐賀県医療センター 好生館 薬剤部）
- 024-6 緩和ケア病棟における酸化マグネシウム製剤服用中の血清マグネシウム値と
腎機能評価としてのシスタチンC測定の意味 S321
横山 和彦（昭和大学横浜市北部病院 緩和医療科）

座長：富安 志郎（医療法人光仁会 西田病院 麻酔科）
月山 淑（和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター緩和ケアセンター）

- 025-1 本邦における腫瘍医と緩和ケア医へのがん性疼痛緩和に関する意識調査 S321
那須 淳一郎（岡山済生会総合病院 内科）
- 025-2 悪性腸腰筋症候群29例の後ろ向き観察研究 S322
木内 大佑（国立がん研究センター中央病院 緩和医療科）
- 025-3 がん患者でのPersonalized pain goal（個別化鎮痛ゴール）と従来の鎮痛指標の比較 S322
須磨崎 有希（国立がん研究センター東病院 緩和医療科）
- 025-4 がん疼痛管理指標の開発 S322
佐藤 悠子（東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野）
- 025-5 本邦における進行がん患者の突出痛の特徴：単施設調査 S322
田上 恵太（国立がん研究センター東病院 緩和医療科）
- 025-6 突出痛が進行がん患者の日常生活や疼痛緩和に与える影響の検討 S323
田上 恵太（国立がん研究センター東病院 緩和医療科）
- 025-7 日本人におけるがん疼痛治療の個別化された目標Personalized Pain Goalの検討 S323
重野 朋子（東北大学大学院 医学系研究科）
- 025-8 宮城県内のがん診療連携拠点病院におけるがん疼痛に関する多施設調査
－施設間差と疼痛緩和が不十分な患者への対応の検討－ S323
重野 朋子（東北大学大学院 医学系研究科）

座長：末永 和之（すえなが内科在宅診療所）
黒田 俊也（深澤りつクリニック）

- 026-1 在宅癌終末期における褥瘡の現状と課題 S323
石川 奈津江（仙台往診クリニック）
- 026-2 腫瘍自壊・易出血状態である乳がん患者に対して在宅で亜鉛華デンプン処置（モーズ変法2）を
行ったことで症状コントロールが可能となった事例を振り返る S324
羽下 貴枝（坂の上ファミリークリニック）
- 026-3 在宅がん患者のQOLに影響を与える医療者の関わり：J-HOPE3附帯研究 S324
浜野 淳（筑波大学 医学医療系）

| | |
|-------|--|
| 026-4 | 在宅療養患者に対する鎮静の対象となった基礎疾患に関する調査 …… S324 相馬 綾子（社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院、社会医療法人財団大和会 村山大和診療所） |
| 026-5 | 地域医療者から見た在宅緩和ケアにおける緩和ケアチームのアウトリーチおよび地域連携バスの有用性調査 … S324 田辺 公一（名城大学 薬学部） |
| 026-6 | 在宅死亡患者の受けた終末期ケアの質、終末期の望ましい死の達成、 終末期の介護体験の遺族評価と在宅診療要因との関連 …… S325 佐藤 一樹（東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野） |
| 026-7 | 在宅ホスピスの共同退院支援の現状と今後の課題 …… S325 田實 武弥（一般財団法人 とちぎメディカルセンター 緩和ケアセンター 在宅ホスピス） |
| 026-8 | ホスピス・緩和ケア病棟から退院した患者の体験に関する遺族調査2 …… S325 小田切 拓也（小牧市民病院 緩和ケア科） |
| 026-9 | 在宅緩和療法を阻害する因子の同定～退院支援の狙いどころ～ …… S325 永田 恵里香（公立玉名中央病院） |